

開発パートナーシップ AUTOSAR 非自動車部品産業分野へ活動拡張

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は世界的に自動車産業界のソフトウェアテクノロジーにおいて要となる存在として成果を挙げており、今回 AUTOSAR 標準規格を非自動車産業分野へも拡張導入していく、という非常に重大な決断を下しました。同社のコアパートナーは既に開発協定改正案に署名しており、今後はいわゆる派生産業分野、つまり商業的慣習上派生し、自動車産業分野での応用が立証済みであるような分野においても標準仕様を適用していくことが可能となる。AUTOSAR 全メンバーが改正案を承認した暁にはこの派生産業分野への標準適用は、鉄道産業、農産業、林業関連機器、建設産業機器、コンプレッサー、ポンプ、発電機、海運業または海軍用大型輸送船などというさまざまな技術分野で実現されていく。しかしながら同派生産業応用分野として航空機産業、航空宇宙産業、原子力発電、化学的又は生物学上の反応装置そして石油化学や軍事分野、無論危険分野への参入は除外している。

「我々のメンバーがそれぞれの産業活動範囲を拡張することを盛んに望んでいるという事は、言い換えれば AUTOSAR がこれまでにいかに成功を遂げてきているかという事実の裏返しでもある。」と AUTOSAR スポークスマンであるアラン・ギルベルグ氏 (Frank Kirschke-Biller) は話し、「今回の新規定により、開発パートナーシップはそのメンバーらがそれぞれに AUTOSAR の標準仕様商品を自動車産業界以外の分野で再活用または適用することを可能にする訳である。」と続けた。

いくつかのコアパートナーと他の開発パートナーシップメンバーらは各自のテクノロジーを自動車産業以外の分野へ適応するための技術開発を試みている。今までは AUTOSAR はその協定書において、ライセンスの産業開拓利用は自動車産業分野のみに限る、という厳しい規制があった。この典型的な例としてはもともと自動車産業界で開発されたが、容易にそれ以外の産業分野へも拡張応用が可能な ECU (electronic control units) が挙げられる。今回の規制緩和 (他産業への拡張応用承認) によって AUTOSAR 製品に新市場が開拓されていくことは確実であろう。

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業の世界規模の開発パートナーシップです。2003年以来これ等の企業は、自動車業界ために開発、標準化されたソフトウェア、アーキテクチャーの開発と導入に取り組んでいます。**AUTOSAR** の仕様を活用することによって、ソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にすることができます。電気・電子システムがますます複雑化する中、確実な管理が可能となります。また品質面で妥協することなく、コスト効率を向上させることができます。**AUTOSAR** のコアパートナーは、BMW Group グループ、ボッシュ(Bosch)、コンチネンタル(Continental)、ダイムラー(Daimler)、フォード(Ford)、ゼネラルモーターズ(General Motors)、PSA プジョー・シトロエン(PSA Peugeot Citroen)、トヨタ自動車、フォルクスワーゲングループ(Volkswagen Group)です。これらの会社に加えて160以上のメンバーが同パートナーシップの発展向上のため重要な役割を果たしています。**AUTOSAR** の開発パートナーシップに参加している企業は**AUTOSAR** 仕様を無償で利用することができます

更なる情報は下記のページを参照下さい:

www.autosar.org

media@autosar.org